

三条市教育制度等検討委員会最終報告 地域説明会記録（本成寺中学校区）

- 1 日 時 平成20年6月9日（月）午後7時～午後8時20分
- 2 会 場 本成寺中学校 第2体育館
- 3 参加者数 14人
- 4 報道機関 朝日新聞
- 5 教育委員会出席者
長沼教育委員 松永教育長 古川教育部長、池浦教育総務課長、駒澤学校教育課長
- 6 説明会次第
 - (1) 開会あいさつ 松永教育長
 - (2) 最終報告説明 池浦教育総務課長
 - (3) 質疑、意見等
 - (4) 閉会あいさつ 長沼教育委員
- 7 質疑、意見等の概要

発言者A

- ① **小中一貫教育の進め方** 小中一貫教育実施のための（案）について、小中義務教育のやり方を1年間だけの話し合いで進めていくのはいかがなものか。また、小中一貫教育の実施について平成24年度実施と書いてあるが、早急すぎるのではないか。まして、モデル校になっていない所に関してはぶっつけ本番で始まるように感じる。もう少し小中の連携を考え、小中一貫とはどうあるべきかを考えて進めていただきたい。

教育総務課長

- ① 昨年から13か月ほどかけて教育制度等検討委員会でまとめられた最終報告書の概要について説明させていただいている。この報告書は、有識者によって時間をかけてじっくりと議論されたものであり、教育委員会として真剣に受け止めさせていただいている。まずはこの提言内容について地域の皆様に説明し、ご理解いただくことが本日の説明会の趣旨である。
スケジュール等の具体的なことに関しては、今後地域の皆様、学校現場の皆様と十分に話し合いをした中で、教育委員会としての具体的な方向性が示されれば、手法等が具体的に示され、議論がなされていくと考えていただきたい。

発言者B

- ① **情報提供について** 1年間検討された内容ということだが、途中段階での経過を知らされていなかった気がするがどうか。
- ② **全国的な状況** 全国的にもほとんど実施されていない制度だと思うが、それをいきなり三条で実施するのは心配である。
- ③ **子供たちへの影響** これは大人の都合ではないか、子供たちが振り回されることが心配である。
- ④ **今後の進め方** 近年の齟齬の問題では、ずいぶん意見があったがほとんど市民の声を聴いてもらえなかったような感がある。まず、三条高校の跡地に一貫校をつくるということが前提に

あって、それが先行しているような気がしてならない。もっと検討していかなければならないことだと思う。

教育総務課長

- ① 確かに説明会という形でこうやってひざを交えて説明させていただくのは初めてであるが、教育制度等検討委員会では、この最終報告書の前に中間報告書を取りまとめている。この段階で内容についてパブリックコメントという市の制度で広報させていただいて、皆様のご意見を聴く機会を設けさせていただいてきたところである。また、3月16日号の広報さんじょうにパブリックコメントの意見公開についての掲載や今日お配りしているパンフレットも全戸配布するなどの情報発信をさせてきていただいているのでご理解いただきたい。

学校教育課長

- ② 形は違うが、全国では117団体で取り組んでいると聞いている。県内では阿賀町の三川小学校・中学校、新潟市の鳥屋野中学校、女池小学校、上所小学校でも研究校の指定を受けている取組状況である。

教育部長

- ③ 教育は長い年月を見越して、しっかりと大人が議論して決めていくべきことであろうと思う。その上で、1年余りをかけて教育制度等検討委員会の中で真剣に議論し、これでどうかという最終報告をいただいた状況である。これですぐに決まってしまうようなことがないようにするためにこのような説明会を開催している。本日いただいたご意見や私どもの回答も広く市民に公開してご意見をいただいく予定となっている。この地域説明会とは別に33校すべてを回り、先生方のご意見もいただいている。今後の協議の中で仮に小中一貫校を推進していこうとなったとしても、決して押し付けるようなことではなく、先生方のご意見や地域の皆様のお話を伺いながら進めていくべきことであると考えている。今は地域の皆様とともにしっかりと検討していきたい。
- ④ 第一中学校区の学校についてはいずれも古い学校が多い。将来的にはかなり大規模な補強や建替えをしなければならないといった指摘も受けている。そういったことも含め、近くに大きな学校の跡地があるため跡地利用も考えてはどうかと最終報告書に盛り込まれている。しかし、これは何ら決定していることではなく、十分にご意見をいただいくべきことと思っている。

発言者B

パブリックコメントとは何か。

教育総務課長

市の政策課題に対して、市民の方から広くご意見をいただく制度である。ホームページ、広報さんじょう、各庁舎・公共施設の情報公開コーナーで公表し、意見をいただく形になっている。また、いただいた意見についても同じく公表していくものである。

昨年、中間報告が11月にまとめ、12月に2週間パブリックコメントにかけさせていただいた結果、3個人・団体の方から20項目のご質問をいただいた。その内容については、先ほど申し上げた方法により公表されているのでご覧いただければと思う。

発言者C

- ① **小学校間の交流** ここだと月岡小と西鱒田小学校が対象になるわけだが、例えば月岡小の児童が西鱒田小に来て交流会などをするという事なのか。
- ② **授業への影響** 移動時間に関しては授業時間に含まれているのか。授業が妨げられてしまうのではないか。
- ③ **情報発信** 平成24年度には全中学校区で一貫教育を始めるということだが、第一中学校区と第三中学校区は始めるということは何となく分かるのだが、本成寺中学校区での一貫教育のメリットやどのようにやっていくのかが分かりにくいので、もっと地域や学校に情報を発信した方がよいのではないか。

学校教育課長

- ① 小学校同士よりも小学校と中学校が交流する方法を考えている。その際に月岡小学校と西鱒田小学校の児童が一緒になって交流することはある。

発言者C

- ④ **小学校間の交流** むしろ、小学校の間に月岡小と西鱒田小と交流を図った上で、本成寺中学校に入学した方がよいのではないか。小学校同士の交流も進めてほしい。

学校教育課長

- ②③④ 今、答申を受けて説明しているわけですが、具体的なことについては方向性が決定されたら次の段階として話し合いをし、できるところから進めていきたい。学校には先生の配置や距離など色々な実態があるわけなので、無理をして押し付けたり、子供たちにとってマイナスになるようなことは避けなければならないと考えている。

教育部長

- ②③④ 移動が授業の妨げになるようなことはすべきでないとする。今はまだ考えられるという段階だが、子供が頻繁にあっちに行ったりこっちに行ったりするようなことではなく、年間のプログラムの中で中学校の専門性のある先生が小学校の授業をしたり、1人の先生で行っていた授業を2人でするようなことを先進地でも見てきた。本成寺中学校区の場合はモデル校である併用型の第三中学校区のような形態が近いと思われる。モデル校での実施を見ながら研究し、今の教育を急に変えるということではなく、今の教育をベースに取り組んだ中でより高度なやり方にしていくということでご理解いただきたい。

発言者D

- ① **学力** 資料に示されている学力面での棒グラフは過去からずっとこのような形態になっているのか。
- ② **授業数** 授業数が土日がないにもかかわらず1日6時間授業の日が3日くらいしかない。さらに選択の授業が3時間、総合が2時間、社会や理科は2時間くらいずつしかない。学力面から考えると受験に対して非常に不安であるが、どのように考えているか。

学校教育課長

- ① 示されたグラフは過去も大体このような傾向となっており、県内でも同じである。三条市では数学と英語が低い傾向がある。

- ② 新学習指導要領が示されているところであるが、各教科には国から示されている標準の時数があり、基準に沿って実施している。総合や選択の時間数にもそれぞれ理由があるわけである。学力の捉え方は人それぞれであり、偏差値だけではなく、例えば判断力や思考力、読解力なども義務教育課程の中では大事な学力の一部だと考える。

発言者 E

- ① **具体性が見えない** 自分の子供の区域がどのようになるのか、具体性が全く見えない。具体性がないと地域の方も保護者の方も何も言えない。噂だけでは困る。月岡と西鱈田小を例に取れば、どのようにスクールバスが出て、どこの中学校とどんなことをしてというようなことがない中で示されても何も言えない。
- ② **今後の進め方** パブリックコメントを実施したということだが、地域の人には浸透していない。これから先生や地域の声を大事にしていくというのであれば、いつどこでどのようにやっていくのか示していただきたい。最終報告ということで今始めてこうやって集まっているわけだが、最終のあとはあるのか。今日参集されている方々は、ある程度教育に関心がある方々だと思う。その方々が知らないようなことがあってはまずいのではないか。

教育総務課長

- ①② 確かに最終報告書ではあるが、あくまでも教育委員会が依頼した審議会の最終報告書である。有識者の方々に1年余りかけてじっくりと議論していただき、一定の結論を出していただいたわけで、まずは真摯に受け止めなければならない。その提言の内容をまずもって地域、学校の皆様に説明し、ご理解いただきたいということで進めているのが、今日のこの会の趣旨である。ここでいただいたご意見を持ち帰り、今後教育委員会で地域や先生方の声を聞きながら方向性を決めていくことになると思う。それぞれの学校、地域によって実状が違うわけなので今度はそれぞれの学校単位で方向性が議論されていくことになると思う。

発言者 E

具体性 つまりこの場は話を聞いてもらって意見を聴く場と受け取ってよいか。理解してもらおうということは具体性がないと理解しにくい。

教育総務課長

小中一貫教育の中で、月岡小学校と西鱈田小学校と本成寺中学校との移動手段等、具体的にどうなるのかということを示す段階ではない。先ほども申し上げたが、大事な提言を審議会からいただき、大事な根本となる部分なので、まず第一段階としてこの状況を皆様にお聞きいただくという趣旨なので、具体的なことはこれからということをご理解いただきたい。